

日本学校メンタルヘルス学会  
第28回大会抄録集の執筆要項

1. 本文の頁数

講演は1頁です。シンポジウムはシンポジウム全体で1頁、さらに各シンポジストで1頁となります（ただし別途座長より指定がある場合はこの限りではありません）。ワークショップはワークショップ全体で1頁となります。

2. 文字数

1400文字程度以内とします。引用文献も含みます。原則として図表は掲載いたしません。必要な場合は「備考」欄に「図表の掲載希望」とご記載いただくとともに、図表のファイルを事務局 (smh.okinawa2024@gmail.com) までメール添付でお送りください。なお、文字数や図表数が多い場合、図表が縮小され判読できなくなる可能性がありますのでご留意ください。

3. 引用文献

機関誌『学校メンタルヘルス』の投稿規程に従います。イタリック、全角半角等は事務局で体裁を整えます。

詳細は[投稿規程](#)をご確認ください。

- 1) Kendall, P. C., Settapani, C. A., & Cummings, C. M. (2012). No need to worry: The promising future of child anxiety research. *Journal of Clinical Child and Adolescent Psychology*, 41(1), 103-115. <https://doi.org/10.1080/15374416.2012.632352>
- 2) 芹澤 啓美・尼崎 光洋・清水 安夫 (2008). 高校運動部員の集団効力感に関する研究——集団効力と部活動適応及び社会的スキルとの関係—— 体育研究, 41 (1), 17-22. [https://doi.org/10.51064/jkshs.41.0\\_17](https://doi.org/10.51064/jkshs.41.0_17)
- 3) Alberto, P. A., & Troutman, A. C. (1999). *Applied behavior analysis for teachers* (5th ed.). Upper Saddle River, N.J.: Merrill.  
(アルバート, P. A.・トルートマン, A. C. 佐久間 徹・谷 晋二・大野 裕史 (訳) (2004). はじめての応用行動分析 日本語版第2版 二瓶社)
- 4) 清水 安夫・米山 恵美子・松尾 一絵 (2006). 小学校教師のストレス 橋本 泰子・岡 秀雄・清水 安夫 (編) 今, 教師が危ない!! (pp. 39-49) ブレーン出版
- 5) 文部科学省 (2022). 令和3年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について 文部科学省 Retrieved December 17, 2022, from [https://www.mext.go.jp/content/20221021-mxt\\_jidou02-100002753\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20221021-mxt_jidou02-100002753_1.pdf)